

梅雨の時期に関するお知らせ

平成29年7月19日11時15分
岐阜地方気象台

(見出し)

名古屋地方気象台は、本日(7月19日)
「東海地方は、梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

東海地方では太平洋高気圧に覆われておおむね晴れています。向こう一週間は、湿った空気や気圧の谷の影響で期間の終わりに雨の降る日がありますが、期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れ間の広がる日が多い見込みです。

このため、東海地方は7月19日ごろに梅雨明けしたと見られます。

(参考事項)

- ・ 平年の梅雨明け 7月21日ごろ(東海地方)
- ・ 去年の梅雨明け 7月28日ごろ(東海地方)

梅雨期間降水量(6月7日から7月18日まで) <速報値>

気象官署/特別地域気象観測所	地域気象観測所(アメダス)							
	岐阜	高山	白川	美濃加茂	揖斐川	樽見	ひるがの	付知
降水量(ミリ)	356.5	240.0	463.0	429.0	381.0	353.0	345.0	340.0
平年値(ミリ)	400.6	309.2	383.6	388.8	561.0	640.0	668.3	510.3

(平年値は、1981~2010年の観測値に基づくものです。)

(注意事項)

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日に変更となる場合があります。